

PLAN	No.	33	事務事業名	緊急通報システム事業		細事務事業名	緊急通報システム事業		公的関与	5	シート作成日	平成31年6月20日					
	課名	介護高齢課		グループ	高齢福祉		担当課長名	藤井 清和		シート作成者名	田畑 由美子						
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ				実施計画	事業の開始・終了									
		施策項目	高齢者支援の充実				<input type="radio"/> 1 該当	年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
		主要施策	高齢者福祉サービス等の提供				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等		弥富市緊急通報システム事業実施要綱							
	個別計画	介護保険事業計画・高齢者福祉計画															
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)											
		<p>○所得税非課税世帯で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1)おむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者</p> <p>(2)ひとり暮らしで、身体障がい者の1級から3級までの手帳の交付を受けた身体障がい者</p> <p>(3)要介護認定を受けた者の内、要介護3~5に該当する者を抱えるおむね65歳以上の高齢者のみの世帯の者</p>				<p>○住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域での見守りが必要な高齢者等の緊急時において、迅速かつ適切に対応し、在宅生活の不安解消を目的とします。</p>											
事業の内容	<p>○本システムの利用者情報が海部南部消防署救急指令センターに登録されていることにより、緊急時において設置機器の緊急通報ボタンを押すことで、消防署から地域の協力員(及び親族)への救急確認依頼や通報の内容に応じて迅速な救急車の出動要請ができます。</p>																
成果指標	①	指標名	機器設置台数				②	指標名									
		指標設定の考え方	緊急事態の救出手段としての指数とするべきところ把握が困難なため、本事業の指標設定を年度末時点での機器設置台数としました。					単位	台	指標設定の考え方							
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度		平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度							
		実績	86	実績	82	目標		※	目標	148	実績		実績		目標	※	目標
		目標	146	目標	※	目標		※	目標		目標	※	目標	※	目標		
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3	民生費	項	3	老人福祉費	目	1	老人福祉総務費				
	直接事業費			平成 29 年度決算額				平成 30 年度決算額				平成 ※ 年度予算額					
		国・県支出金			千円		千円		千円		千円						
		地方債			千円		千円		千円		千円						
		その他特定財源			千円		千円		千円		千円						
		一般財源			3,237 千円		3,233 千円		3,233 千円		0 千円						
	計(A)			3,237 千円		3,233 千円		3,233 千円		0 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費			0.030 人		0.030 人		0.030 人		人						
					207 千円		207 千円		207 千円		0 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		人	0 千円							
全体事業費(A+B)			3,444 千円		3,440 千円		3,440 千円		0 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	高齢化が進む中で、一人暮らし高齢者等の在宅で生活することへの不安を軽減のため必要な事業です。		<input type="radio"/> はい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	一人暮らし高齢者等が少しでも安心して生活していただくためのサービスのため有効です。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	設置台数は前年と比べ減っていますが、高齢者やその家族の安心感は高まっています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない			<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	機器等の設置に必要な経費等は、市が負担しますが、基本料金、通話料は受益者負担としています。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 4 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	利用者のニーズは高いが利用者数は減少している理由の一つとして、固定電話を持たない人が増えたり契約電話会社を変更する人が増えたため、活用できない人が出てきたためと考えられます。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
	課題解決のための改善計画	NTTアナログ回線の電話契約以外の方が利用できる方法を構築していくことが必要と考えます。					現在利用されている方には必要な事業ですが、固定電話が必要なため新規での利用が増えていないようです。今後は他の方式も検討する必要があります。				
備考											